

# 津波避難タワー

海に面する明和町にとって、<sup>ぎょぎょう</sup>漁業やレジャーなどで必要不可欠な存在となっている海ですが、津波や<sup>たか</sup>高潮などの自然災害の危険性も併せ持っています。

海岸から内陸部まで平野が広がる明和町内では南海トラフ地震が起こると最大5～10 mの津波浸水が想定され、浸水域が広く、多くの被害が発生することが想定されています。この津波から逃げ遅れ対策として町内の沿岸部6か所に<sup>ひなん</sup>避難場所となる津波避難タワーが建てられました。

## 明和町の津波避難タワー

大淀津波避難タワー

浜田・八木戸津波避難タワー

大堀川新田津波避難タワー

北藤原・川尻津波避難タワー

山大淀津波避難タワー

根倉・行部津波避難タワー



浜田・八木戸津波避難タワー



津波避難タワー  
避難スペース

キーワード：津波、防災、避難場所、南海トラフ地震